

住まいのかかわら版

2017年07月号

ちよっとかっこいい暮らしをデザインする
UDhome
ユーディーホーム

効果的な洗濯で気持ちよく過ごしましょう！

毎日欠かさない洗濯。でもさまざまな悩みがありますね。

そこで、効果的な洗い方や干し方で洋服を気持ちよく仕上げるコツをご紹介します。

みなさま、元気で過ごしてしまいませんか？

みなさまに暮らしと住まいを快適にするためのちよっと役立つ情報をお届けいたします。今回のテーマは「洗濯」です。「洗濯したのにイマイチきれいにならない」「天気が不安定で部屋干しの生乾きのニオイが気になる」など。洗濯の悩み解消のヒントになる、洗い方や干し方をご紹介します。

ひと手間ですっきり！ 気持ちよく洗いましょう

汗をたくさんかいた服は、洗濯機に入れる前に、セスキ炭酸ソーダ（通称・セスキ）に漬けこむのがおすすめです！セスキは重曹と同様、ナチュラル系のアルカリ剤。重曹より水に溶けやすく、油脂やタンパク質を分解するのが特徴です。つけ置き時間は3時間〜ひと晩がおすすめ。ワイシャツ襟の軽い汚れにも効果アリです。汚れがひどいときは、酸素系漂白剤を40〜50℃のお湯に表示通りの



量を溶いて30分程度漬けこんでから洗濯すればすっきり！ちなみに、酸素系漂白剤は、タオルの生乾きや靴下のニオイにも効果的です。



セスキの量は、市販品の表示に合わせて使用してください。

しつこい泥汚れや砂がこびりついた子どもの靴下も困りますね。汚れを落とすポイントは「湿気をとる」にあります。砂などの汚れが固まって布にこびりついているので、ひと晩、風通しの良いところに置か、ドライヤーで乾かしてから、はたか、使い古しの歯ブラシなどで砂を



粉洗剤は、ぬるま湯で溶かしてから洗濯に使うと成分が全体に行き渡り効果を発揮します！

落とすことができます。湿気といえは、使用後のタオルも洗濯かごに入れず、どこかに干して乾かしてから洗うことで、イヤなニオイ防止になります。衣類洗濯用の液体や粉は、水の量に合わせて表示通りの量を使いましょう。少ないと洗浄力が落ちますし、多すぎても洗浄力に違いはなく、粉なら溶け残り、液体も今ではすすぎ1回タイプが多いので、落とすきれいな場合があります。



頭の体操！間違いがしゲーム
上下のイラストで違うところが箇所あります。さあ！チャレンジしてみてね！



答えは裏を見てニヤ〜

節約のために、お風呂の残り湯は強い味方ですね。でも気温が高い日は、長時間置くと、雑菌の繁殖が増えるので、使わない方がベター。もし、使うなら、入浴後、すぐの夜洗濯がおすすめです。ただし、洗いのみにして、すすぎは必ず水道水ですすぎまで残り湯にすると、ニオイの原因になります。

干し方のちよっとした工夫でニオイ解消！

洗濯後は干し方も肝心です。たとえば、ハンガーに干すと、脇の部分の布が微妙に重なっていませんか？ここが意外と生乾きになることがあります。ニオイは汗のほかにも、服に残った雑菌が原因であることも。そこで、ハンガーに服の裾を洗濯バサミで留め、逆さにハンザイ状態で干す



部屋干しは中心に短いものを干す「アーチ干し」がおすすめ！

ことがおすすめです。これは、強い日差しによる首回りの色あせ防止にもなります。部屋干しの場合、窓際のカーテンレールに干す場合がありますがおすすめしません。窓際は、湿気がたまりやすいので、乾くのが遅く、生乾きの原因に。また、カーテンに触れてさらに乾きを遅らせます。部屋で干す場合は、窓から離れた場所に干しましょう。その際、扇風機を使ったり、洗濯物用の消臭スプレーを使えば、より、気持ちよく乾きます。